

博士前期課程（修士） / 実践看護学領域 / 子どもと家族の看護学分野

科目コード：230012

子どもと家族の保健医療福祉特論 Health and Welfare for Child and Family

担当教員	西村 真実子、武山 雅志、松井 弘美、鈴木 敦子、熊谷 有紀子、明橋 大二				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords	子ども、家族、子育て、育児不安、育児困難、虐待、不登校、メンタルヘルス、周産期、妊娠期、予防、支援、ケア				
学習目的・目標	<p>学習目的： 現代社会における子どもと家族をとりまく諸問題を取り上げ、その実態や背景、および保健・福祉・医療・教育における対応、課題について学ぶ。</p> <p>学習目標： 1) 育児不安や子どもの虐待、不登校等の子どもと家族に関する問題の実態や背景、対応、援助、予防について理解する。 2) 子どもの養育環境や子ども時代の体験の重要性を認識し、関連する諸問題の予防に効果的な関わり・ケア(治療的対応)・支援について考える。</p>				
授業計画・内容					
回	内容	授業方法	担当		
1, 2	子どもの虐待予防概説 1. 定義、類似概念、統計、歴史、発生要因 2. 虐待されて育つとは/虐待のある家族 3. 子どもの虐待対応システム	講義/討論	西村		
3	子どもの虐待における精神力動的及び生物学的要因(文献1) 1) 自己意識と自己同一性 2) 養育者の子どもへの歪んだ認知 3) 攻撃性、暴力、非行、犯罪	プレゼン/討論/講義	西村		
4	幼少期の傷つき経験の影響と対処(文献3) 1) 「先取り不安」とうまく付き合う 2) 「バンダリー」の認識 3) 自分の中の「怒り」をこわがらないようにする	プレゼン/討論/講義	西村		
5	幼少期の傷つき経験の影響と対処(文献3) 1) 自己評価にふりまわされない自分になる/自分の「思い込み」を点検する 2) 「罪悪感」のワナから抜ける 3) 「くしゃくしゃになった」自分を手当てする	プレゼン/講義/討論	西村		
6	周産期メンタルヘルスケアからみた子どもの虐待予防 I (文献2)	討論/講義	西村		
7	育児不安・困難・虐待予防を視野に入れた母子保健システム アセスメント：親子の情緒的発達、親子相互作用など	討論/講義	西村		
8	親支援： 1) 個別支援 親への関わり・支援 2) グループ支援 ペアレンティング・プログラムなど	講義/討論	西村		
10	虐待予防のケア(治療的対応)に役立つ知識：認知行動療法	講義/討論	武山		
11	虐待と関連深い精神障害と治療、被虐待児/虐待に悩む親への治療やケア	講義/討論	明橋		
12	生き抜く力を育む、トラウマからの回復(文献3など)	プレゼン/討論/講義	西村		
13	医療機関における子ども虐待予防活動：システム、親子への関わり・支援、院内外との連携・協働等（専門看護師による実践）	講義/討論	松井		
14	不登校の実態とその対応	講義/討論	熊谷		
15	諸外国における虐待等の問題とその対応	講義/討論	鈴木		
教科書					
参考図書等	<p>1. メアリー・エドナ・ヘルファ他、社会福祉法人子どもの虐待防止センター監修、坂井聖二監訳：虐待された子ども The Battered Child、明石書店、2003</p> <p>2. 北村俊則編集：事例で読み解く周産期メンタルヘルスケアの理論、医学書院、2007</p> <p>3. 季刊どいBe!(依存症・家族・AC...回復とセルフケアの最新情報)、ASKヒューマンケア</p> <p>4. 山口県健康福祉部：みんなでネットワーク 子ども虐待防止に関わる援助関係者の連携マニュアル 改訂版、2006</p> <p>5. スティーブン・ハーマー、白根伊登恵訳：ほんとうの「私」のみつけかた、ヘルシー協会、2000</p> <p>6. ジュディス・L・ハーマン：心的外傷と回復 増補版、みすず書房、1999</p>				
評価指標	<p>1. 出席状況、授業への参加状況 50%</p> <p>2. プレゼンテーションおよびその資料 50%</p>				
関連科目					

教員から学生への メッセージ	
-------------------	--